

インド債券ファンド (毎月分配型)

【運用報告書(全体版)】

第15作成期 (2019年5月28日から2019年11月26日まで)

第 **85** 期 / 第 **86** 期 / 第 **87** 期
決算日2019年6月26日 決算日2019年7月26日 決算日2019年8月26日

第 **88** 期 / 第 **89** 期 / 第 **90** 期
決算日2019年9月26日 決算日2019年10月28日 決算日2019年11月26日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月31日から2022年5月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 K インディア・インカム・ファンド 主に米ドル建てのインドの債券等 コタック・フレキシ・デット・ファンド (クラスA) 主にインドルピー建てのインドの債券等
当ファンドの運用方法	■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つ「コタック・マヒンドラ」グループが行います。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 証券組入 比率	純資産額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
第11 作成期		円	円	%	%	百万円
	61期(2017年6月26日)	7,624	140	1.1	96.9	81,268
	62期(2017年7月26日)	7,508	140	0.3	97.0	88,129
	63期(2017年8月28日)	7,291	140	△1.0	93.4	94,780
	64期(2017年9月26日)	7,251	140	1.4	99.3	102,376
	65期(2017年10月26日)	7,225	100	1.0	97.2	108,147
第12 作成期	66期(2017年11月27日)	7,004	100	△1.7	95.7	109,105
	67期(2017年12月26日)	7,055	100	2.2	97.0	114,098
	68期(2018年1月26日)	6,729	100	△3.2	96.3	111,199
	69期(2018年2月26日)	6,341	100	△4.3	96.6	104,919
	70期(2018年3月26日)	6,127	100	△1.8	94.0	101,789
	71期(2018年4月26日)	6,080	100	0.9	96.3	100,501
第13 作成期	72期(2018年5月28日)	5,865	100	△1.9	94.7	95,695
	73期(2018年6月26日)	5,789	100	0.4	95.7	92,436
	74期(2018年7月26日)	5,753	100	1.1	94.9	90,305
	75期(2018年8月27日)	5,579	100	△1.3	95.9	86,468
	76期(2018年9月26日)	5,318	100	△2.9	97.1	80,554
	77期(2018年10月26日)	5,225	70	△0.4	96.0	77,946
第14 作成期	78期(2018年11月26日)	5,333	70	3.4	96.4	76,845
	79期(2018年12月26日)	5,338	70	1.4	97.1	75,121
	80期(2019年1月28日)	5,170	70	△1.8	94.7	71,438
	81期(2019年2月26日)	5,169	70	1.3	96.4	70,524
	82期(2019年3月26日)	5,295	70	3.8	96.9	71,354
	83期(2019年4月26日)	5,251	70	0.5	95.9	70,598
第15 作成期	84期(2019年5月27日)	5,173	70	△0.2	93.3	69,524
	85期(2019年6月26日)	5,073	70	△0.6	94.9	68,018
	86期(2019年7月26日)	5,131	70	2.5	96.5	68,537
	87期(2019年8月26日)	4,841	70	△4.3	96.1	64,500
	88期(2019年9月26日)	4,860	70	1.8	96.5	64,165
	89期(2019年10月28日)	4,915	40	2.0	94.2	64,648
90期(2019年11月26日)	4,863	40	△0.2	97.0	60,800	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

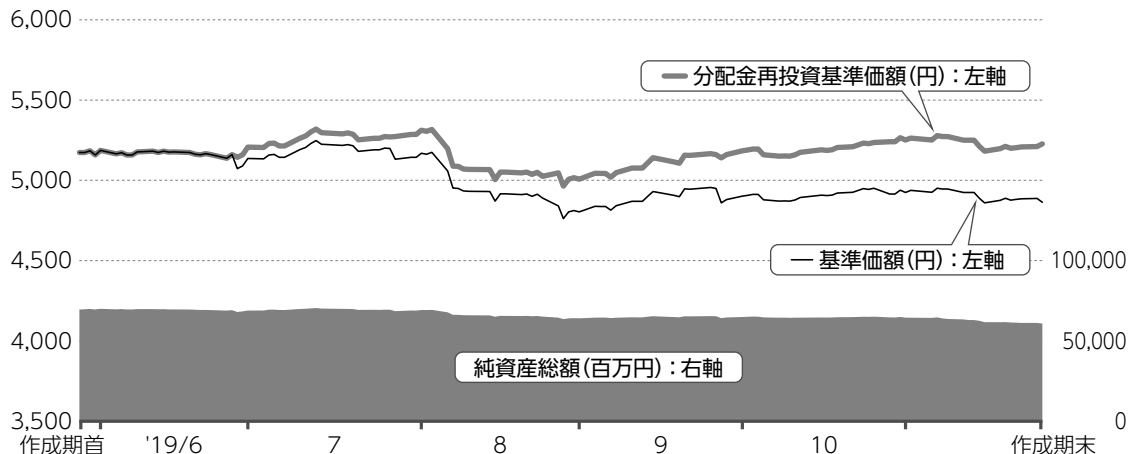
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第85期	(期 首) 2019年5月27日	円 5,173	% —	% 93.3
	5月末	5,186	0.3	93.4
	(期 末) 2019年6月26日	5,143	△0.6	94.9
第86期	(期 首) 2019年6月26日	5,073	—	94.9
	6月末	5,136	1.2	94.9
	(期 末) 2019年7月26日	5,201	2.5	96.5
第87期	(期 首) 2019年7月26日	5,131	—	96.5
	7月末	5,169	0.7	96.2
	(期 末) 2019年8月26日	4,911	△4.3	96.1
第88期	(期 首) 2019年8月26日	4,841	—	96.1
	8月末	4,803	△0.8	96.0
	(期 末) 2019年9月26日	4,930	1.8	96.5
第89期	(期 首) 2019年9月26日	4,860	—	96.5
	9月末	4,902	0.9	95.8
	(期 末) 2019年10月28日	4,955	2.0	94.2
第90期	(期 首) 2019年10月28日	4,915	—	94.2
	10月末	4,925	0.2	94.6
	(期 末) 2019年11月26日	4,903	△0.2	97.0

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2019年5月28日から2019年11月26日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	5,173円
作成期末	5,223円 (当作成期分配金360円(税引前)込み)
騰落率	+1.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

インド債券ファンド（毎月分配型）

基準価額の主な変動要因（2019年5月28日から2019年11月26日まで）

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- R B I（インド準備銀行）の金融政策が緩和寄りになるとの期待などから、作成期初から8月上旬にかけてインドルピー建て債券市場が堅調に推移したこと
- 米国金利の低下を受け米ドル建てインド債券市場が堅調に推移したこと

下落要因

- 米中貿易摩擦の激化などを背景に8月上旬から9月上旬にかけてインドルピーが対円で下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
K インディア・インカム・ファンド	外国債券	58.1%
コタック・フレキシシー・デット・ファンド(クラスA)	外国債券	38.9%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2019年5月28日から2019年11月26日まで）

当作成期は、インド5年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。米国5年国債利回りも低下しました。

為替市場では、インドルピーは円に対して下落しました。

債券市場

インドルピー建て債券市場は、作成期初から8月上旬にかけて堅調に推移しました。RBIの金融スタンスが引き続きハト派（景気を重視する立場）であるとの期待感から、利回りは低下しました。また7月に発表された第二次モディ政権の予算案で、インドでは初めて外貨建てのソブリン債（政府や政府機関、国際機関などが発行する債券）の発行を行う意向が示され、ルピー建て債券の需給が引き締まることが予想されたことも利回り低下の要因となりました。その後9月の下旬にかけては米国が中国に対する新たな追加関税の導入を表明したことや原油価格が上昇したことを受け、利回りは上昇（価格は下落）しました。10月上旬から作成期末にかけては、米中貿易摩擦などのグローバルな政治リスク、また原油価格などをにらみながら、利回りはレンジ内での推移となりました。RBIは当作成期中に3回の利下げを実施しました。

米ドル建てインド債券市場は、米国金利が低下したことを背景に、作成期を通してみれば上昇しました。米国金利はFRB（米連邦準備制度理事会）の金融緩和スタンスなどを

背景に作成期を通してみると低下しました。FRBも当作成期中に3回の利下げを実施しました。

当作成期の市場の動きをJPモルガン・GBI-EMインド（現地通貨ベース）インデックスで見ると約6.9%上昇しました。JPモルガン・CEMBI Broadインド（米ドルベース）インデックスは、約4.9%上昇しました。

為替市場

インドルピーは、作成期初から7月の下旬にかけては対円ではレンジ内での推移となりました。その後8月上旬から下旬にかけて、米中貿易摩擦が激化するとの懸念を背景に安全資産とされる円が大きく買われたことから、インドルピーは対円で大きく下落しました。その後9月上旬から作成期末にかけては、米中貿易摩擦が若干緩和したことで円安が進んだことから対円で上昇しました。作成期を通してみるとインドルピーは対円で下落しました。

当作成期のインドルピー・円は、作成期首1円59銭から作成期末1円53銭と0円06銭のインドルピー安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2019年5月28日から2019年11月26日まで）

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド」および「コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）」を高位に組み入れることにより、運用を行いました。

K インディア・インカム・ファンド

主に米ドル建てのインドの社債に投資しました。また、実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行いました。作成期を通して、満期までの期間が4年までの債券を多めに保有しました。

コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。ポートフォリオの平均デュレーション（投資資金の平均回収期間）を3－4年としました。国債、国営企業債、社債を中心にポートフォリオを構築しました。

ベンチマークとの差異について（2019年5月28日から2019年11月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

分配金について（2019年5月28日から2019年11月26日まで）

当作成期の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、第85期から第88期までをそれぞれ70円、第89期および第90期は基準価額水準や市況動向等を勘案した結果、今後も継続的に分配を行うことを目指し、それぞれ40円に引き下げました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
当期分配金	70	70	70	70	40	40
（対基準価額比率）	(1.361%)	(1.346%)	(1.425%)	(1.420%)	(0.807%)	(0.816%)
当期の収益	43	48	42	44	40	40
当期の収益以外	26	22	28	25	—	—
翌期繰越分配対象額	673	651	624	599	604	606

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド」および「コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）」の高位組入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。

K インディア・インカム・ファンド

米ドル建てのインドの社債については、現在の米国の金融スタンスなどを考えると利上

げの可能性は低く、米国金利は概ね現在のレンジ内で推移すると予想していることから、引き続きポジティブにみています。ただし今後も米中貿易摩擦や世界的な政局リスクが高まる時など市場の変動が大きくなる場合に備えて、引き続き信用力の高い銘柄を中心に投資をしていきます。

コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）

足もとのインフレ率は若干上昇しているものの、中央銀行の目標レンジ（2－6%）内に

収まっており原油価格も落ち着いていることから、引き続きインフレ率は低位安定することが見込まれます。一方でインドの経済は減速気味であることからRBIはハト派的スタンスを維持するものと考えられ、そのことはインド債券市場にとってはポジティブに働くものと考えられます。よってデュレーションは現在の水準から若干長期化する方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 1万口当たりの費用明細（2019年5月28日から2019年11月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	28円	0.550%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数）
（投信会社）	(7)	(0.149)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(19)	(0.385)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	28	0.552	

期中の平均基準価額は5,020円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

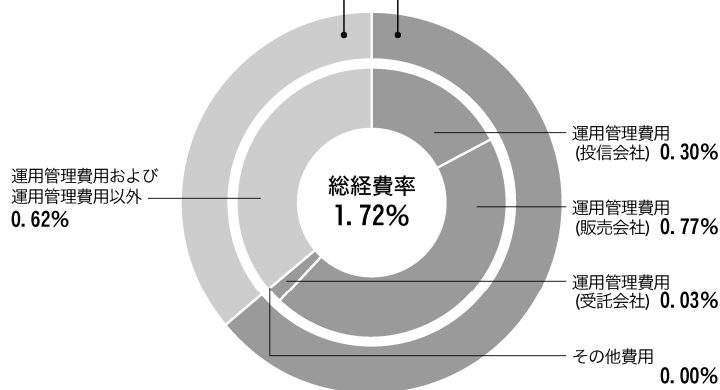
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

■ 参考情報 総経費率（年率換算）

② 投資先ファンドの費用 0.62% ① 当ファンドの費用 1.10%



総経費率 (① + ②)	1.72%
① 当ファンドの費用の比率	1.10%
② 投資先ファンドの費用の比率	0.62%

インド債券ファンド（毎月分配型）

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は1.72%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2019年5月28日から2019年11月26日まで)

投資信託証券

		当作成期			
		買付		売付	
		口数	買付額	口数	売付額
		口	千円	口	千円
国内	K インディア・インカム・ファンド	6,967,043	13,286,000	888,223	1,585,000
	コタック・フレキシビリティ・デット・ファンド（クラスA）	—	—	1,066,536	14,826,000
	合計	6,967,043	13,286,000	1,954,760	16,411,000

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年5月28日から2019年11月26日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年5月28日から2019年11月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 組入れ資産の明細 (2019年11月26日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
	口	口	千円	%
Kインディア・インカム・ファンド	14,041,486	20,120,305	35,352,072	58.1
コタック・フレキシィ・デット・ファンド（クラスA）	2,748,607	1,682,071	23,624,184	38.9
合計	16,790,093	21,802,376	58,976,256	97.0

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2019年11月26日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	58,976,256	95.1
コール・ローン等、その他	3,029,316	4.9
投資信託財産総額	62,005,572	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月26日) (2019年7月26日) (2019年8月26日) (2019年9月26日) (2019年10月28日) (2019年11月26日)

項目	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末	第90期末
(A) 資産	69,399,848,234円	69,899,459,437円	65,833,207,496円	65,440,767,420円	65,641,006,569円	62,005,572,142円
コール・ローン等	2,782,651,031	3,770,194,102	3,855,169,731	3,510,621,357	3,343,831,905	3,029,315,286
投資証券(評価額)	64,571,197,203	66,129,265,335	61,978,037,765	61,930,146,063	60,897,174,664	58,976,256,856
未収入金	2,046,000,000	-	-	-	1,400,000,000	-
(B) 負債	1,381,725,838	1,361,834,125	1,332,469,606	1,275,763,720	992,245,273	1,204,961,463
未払収益分配金	938,548,654	935,072,032	932,732,619	924,203,562	526,101,197	500,101,010
未払解約金	381,409,778	365,042,491	338,444,977	292,120,495	403,882,981	649,700,635
未払信託報酬	61,604,963	61,510,631	61,106,079	59,230,042	62,101,548	54,960,141
未払利息	7,394	-	9,505	9,618	5,496	7,469
その他未払費用	155,049	208,971	176,426	200,003	154,051	192,208
(C) 純資産総額(A-B)	68,018,122,396	68,537,625,312	64,500,737,890	64,165,003,700	64,648,761,296	60,800,610,679
元本	134,078,379,158	133,581,718,988	133,247,517,028	132,029,080,357	131,525,299,337	125,025,252,580
次期繰越損益金	△ 66,060,256,762	△ 65,044,093,676	△ 68,746,779,138	△ 67,864,076,657	△ 66,876,538,041	△ 64,224,641,901
(D) 受益権総口数	134,078,379,158口	133,581,718,988口	133,247,517,028口	132,029,080,357口	131,525,299,337口	125,025,252,580口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,073円	5,131円	4,841円	4,860円	4,915円	4,863円

※当作成期における作成期首元本額134,395,739,318円、作成期中追加設定元本額13,678,143,707円、作成期中一部解約元本額23,048,630,445円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 損益の状況

〔自2019年5月28日
至2019年6月26日〕
〔自2019年6月27日
至2019年7月26日〕
〔自2019年7月27日
至2019年8月26日〕
〔自2019年8月27日
至2019年9月26日〕
〔自2019年9月27日
至2019年10月28日〕
〔自2019年10月29日
至2019年11月26日〕

項 目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
(A) 配 当 等 取 益	650,108,347円	667,240,026円	627,985,042円	621,166,584円	618,329,243円	577,644,001円
受 取 配 当 金	650,360,791	667,392,481	628,172,037	621,347,962	618,519,666	577,829,310
支 払 利 息	△ 252,444	△ 152,455	△ 186,995	△ 181,378	△ 190,423	△ 185,309
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 991,300,678	1,078,033,758	△ 3,479,667,863	610,811,975	687,014,702	△ 676,207,020
売 買 益	22,075,987	1,107,125,971	36,376,088	621,991,609	698,483,574	50,956,187
売 買 損	△ 1,013,376,665	△ 29,092,213	△ 3,516,043,951	△ 11,179,634	△ 11,468,872	△ 727,163,207
(C) 信 託 報 酬 等	△ 61,760,012	△ 61,719,602	△ 61,315,970	△ 59,430,045	△ 62,255,599	△ 55,152,349
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 402,952,343	1,683,554,182	△ 2,912,998,791	1,172,548,514	1,243,088,346	△ 153,715,368
(E) 前期繰越損益金	△23,092,678,058	△23,504,211,112	△22,074,452,942	△24,950,470,222	△23,782,022,024	△21,693,089,244
(F) 追加信託差損益金	△41,626,077,707	△42,288,364,714	△42,826,594,786	△43,161,951,387	△43,811,503,166	△41,877,736,279
(配当等相当額)	(9,333,702,866)	(8,956,155,698)	(8,642,364,594)	(8,196,622,985)	(7,841,521,875)	(7,455,601,655)
(売買損益相当額)	(△50,959,780,573)	(△51,244,520,412)	(△51,468,959,380)	(△51,358,574,372)	(△51,653,025,041)	(△49,333,337,934)
(G) 計 (D + E + F)	△65,121,708,108	△64,109,021,644	△67,814,046,519	△66,939,873,095	△66,350,436,844	△63,724,540,891
(H) 収 益 分 配 金	△ 938,548,654	△ 935,072,032	△ 932,732,619	△ 924,203,562	△ 526,101,197	△ 500,101,010
次期繰越損益金(G+H)	△66,060,256,762	△65,044,093,676	△68,746,779,138	△67,864,076,657	△66,876,538,041	△64,224,641,901
追加信託差損益金	△41,974,681,493	△42,582,244,495	△43,199,687,834	△43,492,024,088	△43,811,503,166	△41,877,736,279
(配当等相当額)	(8,985,099,080)	(8,662,275,917)	(8,269,271,546)	(7,866,550,284)	(7,841,521,875)	(7,455,601,655)
(売買損益相当額)	(△50,959,780,573)	(△51,244,520,412)	(△51,468,959,380)	(△51,358,574,372)	(△51,653,025,041)	(△49,333,337,934)
分配準備積立金	41,052,541	42,514,011	48,810,279	44,741,471	106,395,879	122,457,921
繰 越 損 益 金	△24,126,627,810	△22,504,363,192	△25,595,901,583	△24,416,794,040	△23,171,430,754	△22,469,363,543

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
(a) 費用控除後の配当等収益	588,348,335円	643,644,622円	566,669,072円	591,201,955円	588,838,766円	522,491,652円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	9,333,702,866	8,956,155,698	8,642,364,594	8,196,622,985	7,841,521,875	7,455,601,655
(d) 分配準備積立金	42,649,074	40,061,640	41,780,778	47,670,377	43,658,310	100,067,279
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	9,964,700,275	9,639,861,960	9,250,814,444	8,835,495,317	8,474,018,951	8,078,160,586
1万口当たり分配可能額	743	721	694	669	644	646
(f) 分配金額	938,548,654	935,072,032	932,732,619	924,203,562	526,101,197	500,101,010
1万口当たり分配金額(税引前)	70	70	70	70	40	40

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	70円	70円	70円	70円	40円	40円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	Kインディア・インカム・ファンド
形態	ケイマン籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドルピー建て以外のインドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
ベンチマーク	ありません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資は取得時において純資産総額の15%以下とします。
決算日	年1回決算（原則として、毎年9月30日。休業日の場合は前営業日）
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用報酬	純資産総額に対して年0.64%
管理およびその他の費用	<p>ファンドの管理、保管、設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「Kインディア・インカム・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2017年10月1日から2018年9月30日)

(単位：米ドル)

投資収益	
受取利息	10,809,369
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る純利益	(12,679,957)
デリバティブに係る純損失	(14,503,858)
	(16,374,446)
費用	
管理会社手数料	24,100
運用報酬	1,517,077
保管報酬	34,045
保険料	9,155
その他費用	21,715
監査報酬	17,000
調整費用	4,929
為替差損	916,104
	2,544,125
金融費用控除前純投資収益	(18,918,571)
金融費用	
償還可能参加型受益証券保有者に支払った分配金	(114,210,274)
償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	(133,128,845)

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 組入上位30銘柄(2018年9月30日現在)

	銘柄名	通貨	利率	償還日	組入比率
1	Axis Bank 3.25% 21/05/2020	USD	3.25%	21/05/2020	7.4%
2	Reliance Holding 5.40% 14/02/2022	USD	5.40%	14/02/2022	7.2%
3	Canara Bank 3.25% 10/08/2022	USD	3.25%	10/08/2022	6.8%
4	Syndicate Bank 3.875% 04/12/2019	USD	3.875%	04/12/2019	6.2%
5	Tata Motors 5.75% 30/10/2024	USD	5.75%	30/10/2024	5.7%
6	State Bank of India 3.25% 24/01/2022	USD	3.25%	24/01/2022	5.2%
7	Abja Investments 4.85% 31/01/2020	USD	4.85%	31/01/2020	3.6%
8	Rural Electrification Corporation 3.875% 07/07/2027	USD	3.875%	07/07/2027	3.2%
9	UPL Corp Limited 3.25% 13/10/2021	USD	3.25%	13/10/2021	2.9%
10	IDBI Bank 3.75 % 25/01/2019	USD	3.75%	25/01/2019	2.5%
11	ECL Finance Ltd 9.05% 28/12/2019	IND	9.05%	28/12/2019	2.5%
12	Motherson Sumi 4.875% 16/12/2021	USD	4.875%	16/12/2021	2.3%
13	IDBI Bank 4.25 % 30/11/2020	USD	4.25%	30/11/2020	2.2%
14	Bharti 4.375% 10/06/2025	USD	4.375%	10/06/2025	2.2%
15	OIL INDIA 4.00% 21/04/2027	USD	4.00%	21/04/2027	2.1%
16	Union Bank of India 4.50% 28/10/2019	USD	4.50%	28/10/2019	2.0%
17	Adani Ports And Special 4.00% 30/07/2027	USD	4.00%	30/07/2027	1.9%
18	TML Holdings 5.75% 07/05/2021	USD	5.75%	07/05/2021	1.8%
19	India Bulls Housing Finance Ltd 8.567% 15/10/2019	IND	8.567%	15/10/2019	1.8%
20	Bharat Petroleum Corporation 4.00% 08/05/2025	USD	4.00%	08/05/2025	1.8%
21	Vedanta Resources 8.25% 07/06/2021	USD	8.25%	07/06/2021	1.8%
22	Power Grid Corporation 3.875% 17/01/2023	USD	3.875%	17/01/2023	1.7%
23	ICICI Bank 7.00% 23/11/2020	USD	7.00%	23/11/2020	1.6%
24	Reliance Holding 4.50% 19/10/2020	USD	4.50%	19/10/2020	1.5%
25	NTPC 4.375% 26/11/2024	USD	4.375%	26/11/2024	1.5%
26	JSW Steel 4.75% 12/11/2019	USD	4.75%	12/11/2019	1.5%
27	Adani Ports And Special 3.95% 19/01/2022	USD	3.95%	19/01/2022	1.4%
28	IDBI Bank 5.00 % 25/09/2019	USD	5.00%	25/09/2019	1.4%
29	Power Finance Corporation 3.75% 6/12/2027	USD	3.75%	6/12/2027	1.4%
30	HDFC Masala Bank Ltd 8.1% 22/3/2025	IND	8.1%	22/3/2025	1.3%

※コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）からデータ提供を受けて作成しています。

※比率はポートフォリオに対する割合

インド債券ファンド（毎月分配型）

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
ベンチマーク	ありません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資は取得時において純資産総額の15%以下とします。
決算日	年1回決算（原則として、毎年3月31日。休業日の場合は前営業日） ただし、決算日は変更される場合があります。
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用報酬	純資産総額に対して年0.64%
管理およびその他の費用	<p>ファンドの管理、保管、設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日)

(単位：米ドル)

投資収益

損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる純損失	(37,992,347)
為替にかかる純未実現損失	(3,131,647)
利息収入	19,049,326
	(22,074,668)

費用

投資運用報酬、規制関連・管理サービス料	3,092,239
その他の営業費用	24,270
管理会社手数料	14,600
監査報酬	12,000
専門家報酬	32,380
規制関連報酬	3,410
営業費用合計	3,178,899

金融費用控除前営業利益（損失）	(25,253,567)
税引前損失	(25,253,567)
所得税費用	(1,355,886)
償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の減少額	(26,609,453)

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 組入上位30銘柄

（基準日：2019年3月31日）

	銘柄名	通貨	利率(%)	償還日	比率(%)
1	8.25% Indian Railway Finance Corporation Limited (Series 132) 28/02/2024	I N R	8.25	2024/02/28	6.43
2	8% Reliance Jio Infocomm Limited (Series PPD12) 07/04/2023	I N R	8.00	2023/04/07	6.38
3	8.30% NTPC Limited (Series 67) 15/01/2029	I N R	8.30	2029/01/15	6.25
4	9.15% Aditya Birla Finance Limited (SR-AK) 13/01/2022	I N R	9.15	2022/01/13	5.68
5	9.10% Power Finance Corporation Limited (Option 184B) 25/03/2029	I N R	9.10	2029/03/25	5.64
6	8.55% Housing Development Finance Corporation Limited 27/03/2029	I N R	8.55	2029/03/27	5.53
7	8.45% Sikka Ports & Terminal Limited 12/06/2023	I N R	8.45	2023/06/12	4.46
8	0% Mahindra & Mahindra Financial Services Ltd	I N R	0.00	2022/03/29	3.67
9	8.18% NABARD (Series-PMAYG-PB-3) 26/12/2028	I N R	8.18	2028/12/26	3.63
10	8.35% Indian Railway Finance corporation Limited (Series 133) 13/03/2029	I N R	8.35	2029/03/13	3.52
11	8.30% Rural Electrification Corporation Limited (Series VIII) 25/03/2029	I N R	8.30	2029/03/25	3.15
12	8.97% UP Power Corporation Limited (SERIES III - D) 15/02/2024	I N R	8.97	2024/02/15	2.99
13	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 31/12/2022	I N R	7.82	2022/12/31	2.81
14	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 30/06/2022	I N R	7.82	2022/06/30	2.79
15	8.5950% LIC Housing Finance Limited (TR-380) 14/01/2022	I N R	8.59	2022/01/14	2.60
16	9.00% Shriram Transport Finance Co. Ltd (option 1) 28/03/2028	I N R	9.00	2028/03/28	2.48
17	8.22% NABARD (Series-PMAYG-PB-2) 13/12/2028	I N R	8.22	2028/12/13	2.48
18	8.97% UP Power Corporation Limited (SERIES III - C) 15/02/2023	I N R	8.97	2023/02/15	2.18
19	8.18% Tamil Nadu SDL 19/12/2028	I N R	8.18	2028/12/19	1.90
20	9.75% U.P. Power Corporation Limited (Sub Series F) 18/10/2024	I N R	9.75	2024/10/18	1.89
21	7.47% power Finance Corporation (SR-151A) 16/09/2021	I N R	7.47	2021/09/16	1.88
22	7.40% Power Finance Corporation (SR-153) 30/09/2021	I N R	7.40	2021/09/30	1.88
23	10.25% Shriram Transport Finance Company Limited 27/12/2024	I N R	10.25	2024/12/27	1.81
24	8.44% HDFC Bank 28/12/2018	I N R	8.44	2018/12/28	1.70
25	8.30% Reliance Industries Limited (PPD - SRJ) 08/03/2022	I N R	8.30	2022/03/08	1.68
26	9.00% Muthoot Finance Limited (Series VI) 19/04/2023	I N R	9.00	2023/04/19	1.58
27	8.45% Uttar Pradesh SDL 27/02/2029	I N R	8.45	2029/02/27	1.52
28	9.75% U.P. Power Corporation Limited (Sub Series E) 20/10/2023	I N R	9.75	2023/10/20	1.37
29	8.03% Power Finance Corporation Ltd (Sr-147) 02/05/2026	I N R	8.03	2026/05/02	1.18
30	8.20% Shriram Transport Finance Company Limited 15/10/2027	I N R	8.20	2027/10/15	1.06

※比率は純資産総額に対する割合

※上記はコタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）からデータの提供を受けて三井住友DSアセットマネジメントが作成